

旋盤作業におけるノギスによる外径測定

外径の測定では、^{しんお} ; ^{だい} ; 台のほうから ^{しゅじく} ; 主軸を覗き込むような位置に立ち、ノギスの主尺(メインスケール)と幅尺(バーニアスケール)に ^{すいちよく} ; 垂直な位置に測定者の目が来るようにすると ^{しき} ; 視差による誤差を少なくすることができます。次に測定したい円筒面に対しノギスの主尺が主軸に直行するようにノギスの「くちばし」を当て、軽くスライダーを絞るように押します。初心者にとって旋盤に工作物を取り付けたままの測定は非常に難しいものなので、なれるまで、なんども繰り返し、安定して測定できるように訓練してください。加工の ^{とじょう} ; 途上で正確な測定ができなければ、工作物の精度は期待できません。

Text 3		
旋盤	せんばん	soustruh
芯押し台/心押し台	しんおしだい	koník (soustruhu)
主軸	しゅじく	vřeteno (soustruhu)
垂直な	すいちよくな	kolmý
誤差	ごさ	odchylka
直行する	ちよっこうする	být přímý, jet přímo
工作物	こうさくぶつ	obrobek
ノギス		posuvné měřítko